

危機と生きる

新型コロナ考

與那覇潤

(3)

新型コロナウイルスの感染拡大で東京五輪・パナリオン・ソウルの延期が決まっ

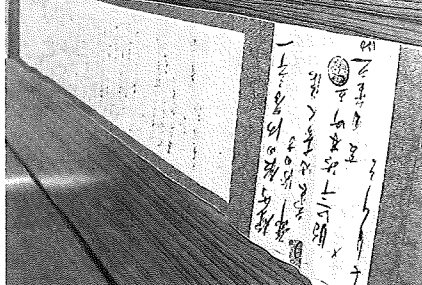


よなは・じゅん 1979年横浜生まれ、歴史学者。著書に「中国化する日本」歴女がおわるまじになど。

らる「老熟園」。世界はこれから日本の「囚徒」に列を導く母の力を受け

漱石交友新たに

書簡に謎の紀元会発見



新たに見つかった漱石の書簡。巻物に加工されている。埼玉県川市

交際せず」と記すなど、2人は疎遠だったとみられていた。漱石の菊池への書簡も見つかっていなかった。

新刊紹介

一風谷巡る調査

「映し出されたアヌ文化」(国立歴史民俗博物館 編、内田順子編)

19世紀末に来日した英国人の美術家マローは193

ずんやま・ずんやま 大学卒業。名桜大学 助産学。PSJ() 企画大会20

◇第1、第

博物館の准教授が、谷を訪ねてその遺跡を

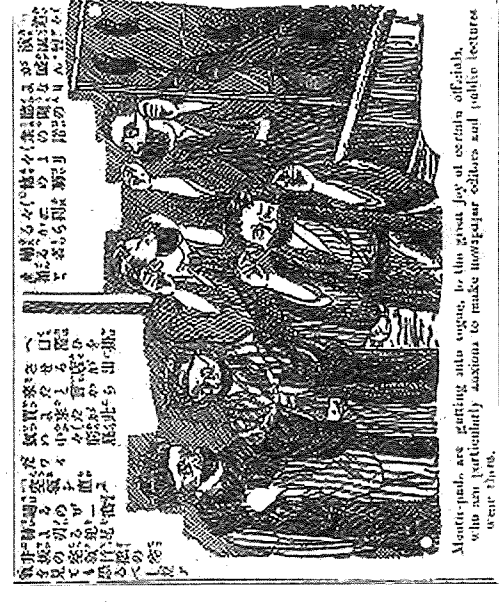
文化

今から140年前は、廃藩置縣で琉球藩から沖縄県にかわった時だ。新聞でい

ここに挙げる1枚は、当時の人気風刺新聞の挿絵だ。背黒いマスクをして

政府の自覚

国難、国家的危機、想定外、華族の選択。言い方はいろいろだが、結果として



1878(明治11)年4月26日号の挿絵(筆者提供) 風刺新聞「國難珍聞」

をとりながら、「民主主義国家においては、これら制限は簡単に行われるべきではなく、一時的なもの

「新型コロナウイルス感染症の拡大防止に関する統計データ等の提供の要請につ

型コロナ対策関係部局)への要請を制限することが起きている。

また(地方自治法115条)。同時に、報道機関の取材は、仮に一般傍聴が制

確認しておくが、市民的自由を個別の法律によって制約する場合であっても、憲

車に例えれば、コロナ特措法という弾力がエッジを積み、緊急事態宣言とい

卓上に飾られた、リビングライオンに臨み、少し物憂げに見える

文化時評

山田健太

(4月)

新型コロナ緊急事態宣言

国難 何でもありか

国民と報道「ブリーキ」に

法規的措置として進む自由や権利の制限だ。ドイツのメルケル首相は3月18日の国民向けスピー

議会での封鎖。また日本中の議会でも、これまでにならぬ同時進行している。沖縄県でも

も確認が必要だろう。立法院における議論の公開は、憲法で国会審議の公

の取材に対しても自粛要請や禁止措置をとったところ

の自律的な判断で、自己の行動を差し控える場合があ

風いだ夜空に。今日は一日中雨だ。世間は目に見えぬ

罪のない人間に予定していた晴れ舞。小さな教室で厳かに

お風呂上りの少女の。雨音はとくに止ら

ずんやま・ずんやま 大学卒業。名桜大学 助産学。PSJ() 企画大会20

◇第1、第

博物館の准教授が、谷を訪ねてその遺跡を